

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	川西市立川西養護学校	研究グループ名 ( 阪神5校連携研究会 )
	教諭 高木 裕美	

研究テーマ分類番号 ( 9 )

(1)研究テーマ	
<p>肢体不自由特別支援学校における、教員の専門性を高め、実践力を身につける ～ 阪神地区の肢体不自由教育の向上をめざして～</p>	
(2)研究概要及び具体的な取組	
<p>阪神間の肢体不自由校5校（尼崎・伊丹・川西・宝塚・西宮）と近隣の特別支援学校に呼びかけ、参加者を募った。今年度は5回の集まりのうち、2回を講義、3回を事例検討会として予定を組んでいる。講義は、基本的な内容をおさえ、事例検討に関しては、毎回2校がビデオを持ち寄り、その事例についての実態把握や課題設定、教材やその提示の仕方、関わり方や子どもとの応答関係についてディスカッションを行っている。</p>	
6月22日	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場 所：伊丹特別支援学校</li> <li>・内 容：インリアル・アプローチについて</li> <li>・講 師：伊丹特別支援学校校長</li> <li>・成 果：豊かなコミュニケーションを築くために、コミュニケーションの原則、大人の基本姿勢等について講義をいただき、具体的な支援方法等について学ぶことができた。</li> </ul>
9月21日	<p>事例検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場 所：伊丹特別支援学校</li> <li>・内 容：2事例について事例検討を行った。</li> </ul> <p>事例1 発語はないが、要求は、実物を持ってきたり手指しをしたりして伝える。物への志向性が強い傾向にあるため、更にとのコミュニケーションを深めるための手立てについて検討した。</p> <p>事例2 聴覚刺激に対する反応が良く、好きな音楽や音は集中して聴いている。より外界の刺激に対して主体的な関わりが持てるよう、関わり方やポジショニング、教材について検討した。</p>
11月9日	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場 所：伊丹特別支援学校</li> <li>・内 容：発達について</li> <li>・講 師：伊丹特別支援学校校長</li> <li>・成 果：実態把握に欠かせない「発達段階」と「発達課題」について、身体面、認知面、コミュニケーション面、言語面、社会性の面からまとめていただき、理解を深めることができた。</li> </ul>